

## 平成29年度TWC秋の遠征ウォーキング

—老若男女問わず登山者数が多い。年間の登山者数は約260万人を超え、世界一を誇る—

2017年10月31日（火）

筑波大学ウェルネスクラブ恒例の秋の遠征ウォーキングは、東京近郊でケーブルカーとリフトに6種類の登山コース+尾根・縦走コースと年齢・体力に合わせて四季折々の自然を楽しむことができるので、周りの人に聞けば、一度は遠足やハイキングで訪れたことがあると答える人も多い。

秋の長雨、台風21・22号は、関東地方近くを通過した。幸い当日の朝は快晴、参加者32名は、筑波大を8時出発した。

『高尾山薬王院は、一仏四神をお祀りしているの、拝み方はどちらでも気持ちを含めいただければと思います』（高尾山マガジン）駐車場からお弁当を持ち、1号路表参道のAコース登山組とケーブルカー組と十一茶屋前で合流と分かれる。

「タコ杉」に近づくとパワースポットを手で触れる若い女性登山者を見る。

山門を入り、大小天狗像前で、矢部会長が篠原さんと連絡を取り、「ここで待つ」と言うが先に着いた方が既に御本殿・御本社方面へ登って行ったので後に続く。

奥ノ院横裏から保育園児20人程下りてきて、拝殿前で祈ると引率の先生3人は「安全に帰れるようにお祈りしましたか」と言う。

「高尾山頂599.15m」標識を挟んで写真を撮る順番に日本人、外国人も並ぶ。

周囲の紅葉も今が盛りと癒しをしてくれる。ブルーシートの上で小学生の集団がお弁当を食べている。

見晴らし台では、富士山が朝の快晴は嘘のように雲が湧き見えない。外国人が柵の写真案内板と前方を交互に見ている。

山頂で全員揃うが、見晴らしの良い場所や東屋と別れてお弁当を食べ休憩をする。

14時、紅葉を観て堪能しところで、膝に負担が少ない、3号路経由で飯縄権現堂裏に通じる坂道を下り、山門前で記念写真を撮り、大杉原を通り「たこ杉」まで戻るとバイクの消防車2台、ケーブルカーへ



向かうとサイレンを鳴らし軽の消防車2台が前を通過、救急車のサイレン、崖から滑り落ちたのか。無事を祈る。

参加者が主役、お友達や山頂の紅葉の彩等を楽しみ、15時33分バスに戻る。

帰りの車内で坂場氏所有のCD日本愛唱歌オーケストラ演奏バージョンを流しいただき、オレンジ色の夕焼けを背に大学に無事に戻りました。

役員一同も楽しみました。（文責・石田）